

有識者会議、月内にも 府

経済安保推進で初会合 政

政府は19日、首相官邸で「経済安全保障推進会議」の初会合を開いた。議長岸田文雄首相は経済安保を強化する法案の準備を急ぐよう関係閣僚に指示した。検討の場となる有識者会議の設置も要請した。

小林鷹之経済安保相が各府省にまたがる政策をとりまとめる。国家安全保障局（NSS）の経済班が法案策定の実務にあたる。

閣僚会議は小林氏と松野博一官房長官が副議長

法案は①特許の公開制限②サプライチェーン（供給網）の強化③先端技術の研究開発支援④重要インフラの安全確保――を4本柱にする。

法案は特許の公開制限など4本柱で構成し、2022年の通常国会に提出をめざす。有識者会議は月内にも立ち上げる。

首相は「世界各国が戦略的物資の確保や重要技術の獲得にしのぎを削るなか、日本の経済安保の取り組みを強化する」と述べた。「経済安保は岸田内閣の重要課題だ」と語